露志ぐさ

全六冊

一九重政

へ13
2378
168

遠13
2378
1681

露時雨駕籠之渡 全六冊

十返舍一九作
北尾重政画

紹福迎慶

前編

文政十一歳
戊子ノ初春

江戸ヨリ町親仁橋角
山本平吉板

俗説駕の渡し序

飛騨の國益田郡神岡村なる山中より飛州高山へ
かゝる往来街道なれども神通川の水上にて巖石そびえ
嶮岨なる西岸にて人馬通ひ難く
藤縄をはりて
を引きつたへ巧みなる一とせの秋と頃ひ樵夫の
家に憩ひて清茶もてなすあり中畢谷の便船
其有様実如何に近来流行の合巻絵草紙よりも
洒落にして記行七年を経て拾ひ書一冊に成編をあらまし
取敢ずこの表題を書るしむ

文政十戊子年新版

十返舍一九誌

小鍛冶宗近
護法神
倉稲魂
邑長
天野九太夫

関人原の
女馬士
於余喜
上原藩中
泡淵
郡平

町へ
笑山
天野逸五郎
九太夫娘
於曽満

石像の
佛生
一河
激士

大載礼云婦有七出不順父母者無子者淫辟者嫉妬者惡疾者多口舌者竊盜者也有三不去謂有取受無所歸者經其三年之

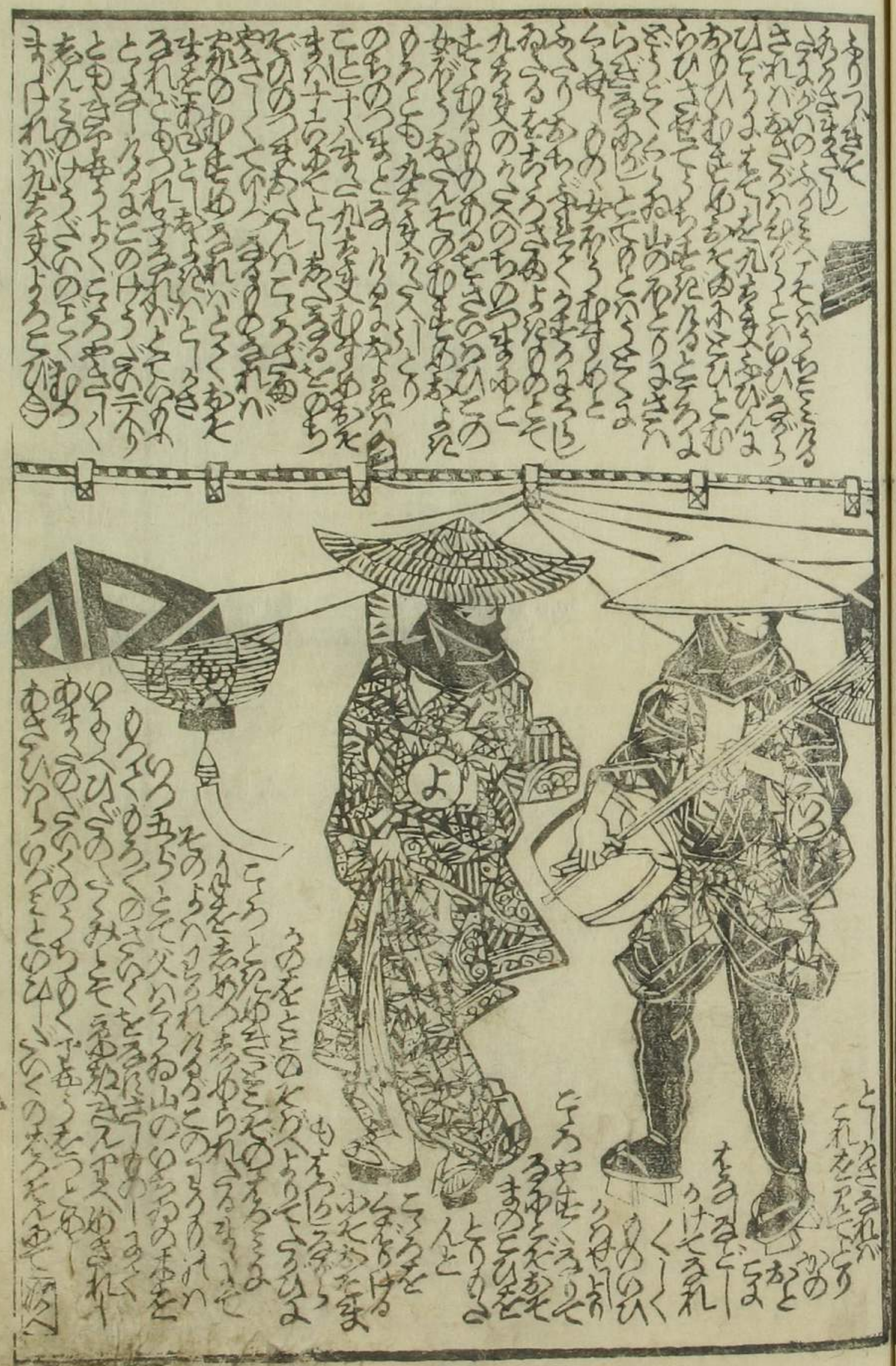
九太夫前妻　於佐賀

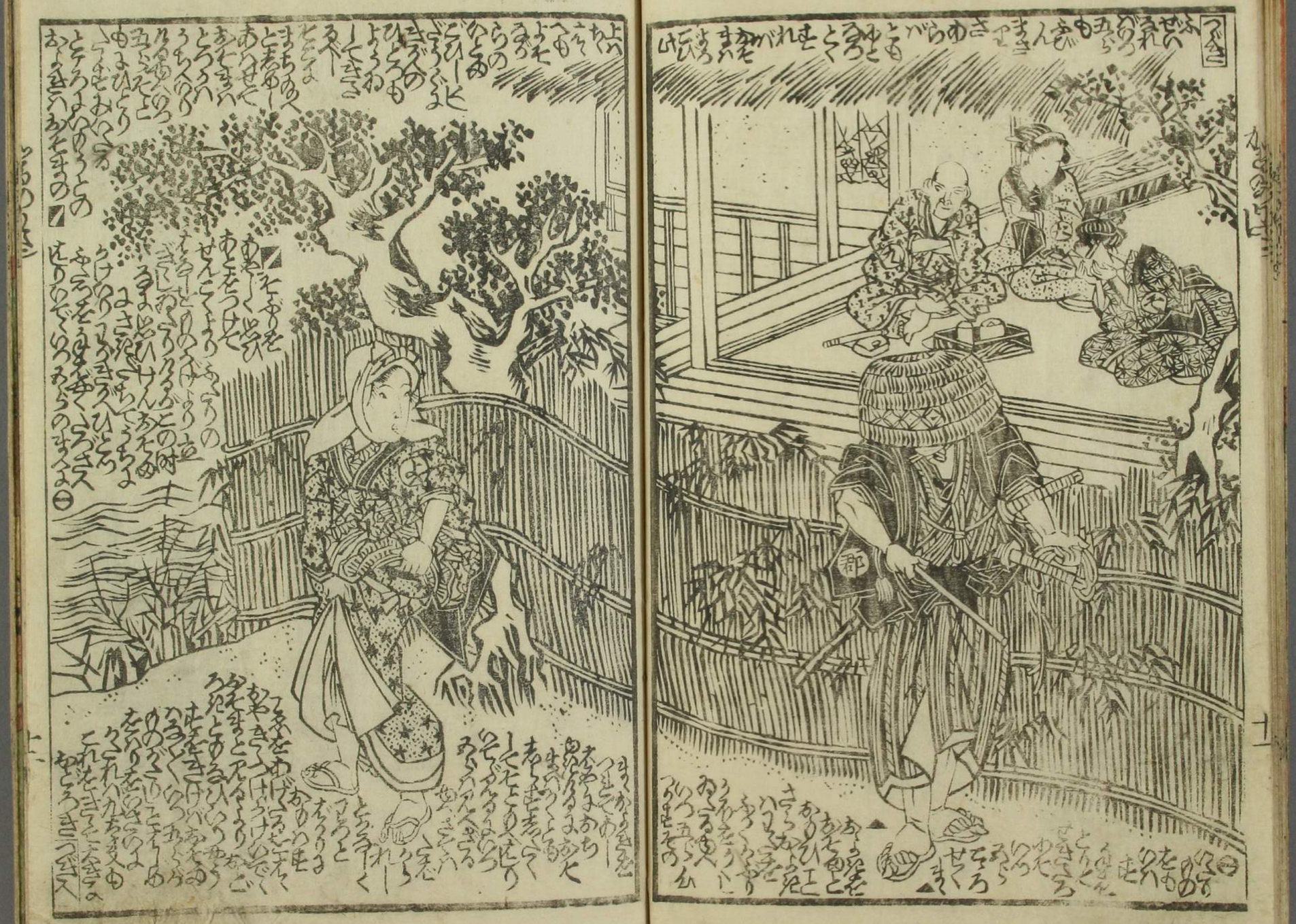
喪者先貧賤而後成富貴者也

後妻　於まん舞

中秋出月ろ

た
九
そ


よ
ろ


都

十四
九
九

北尾重政畫

十返舍一九作

駕籠乃渡

上町親仁稲角
山本平吉板

文政十一歳
戊子春

後

遠
2378
168 之上

遠
2378
1682止

一九作
重政畫

後編

露時雨籠の渡

はつゆき　ぐ　ご　わたり

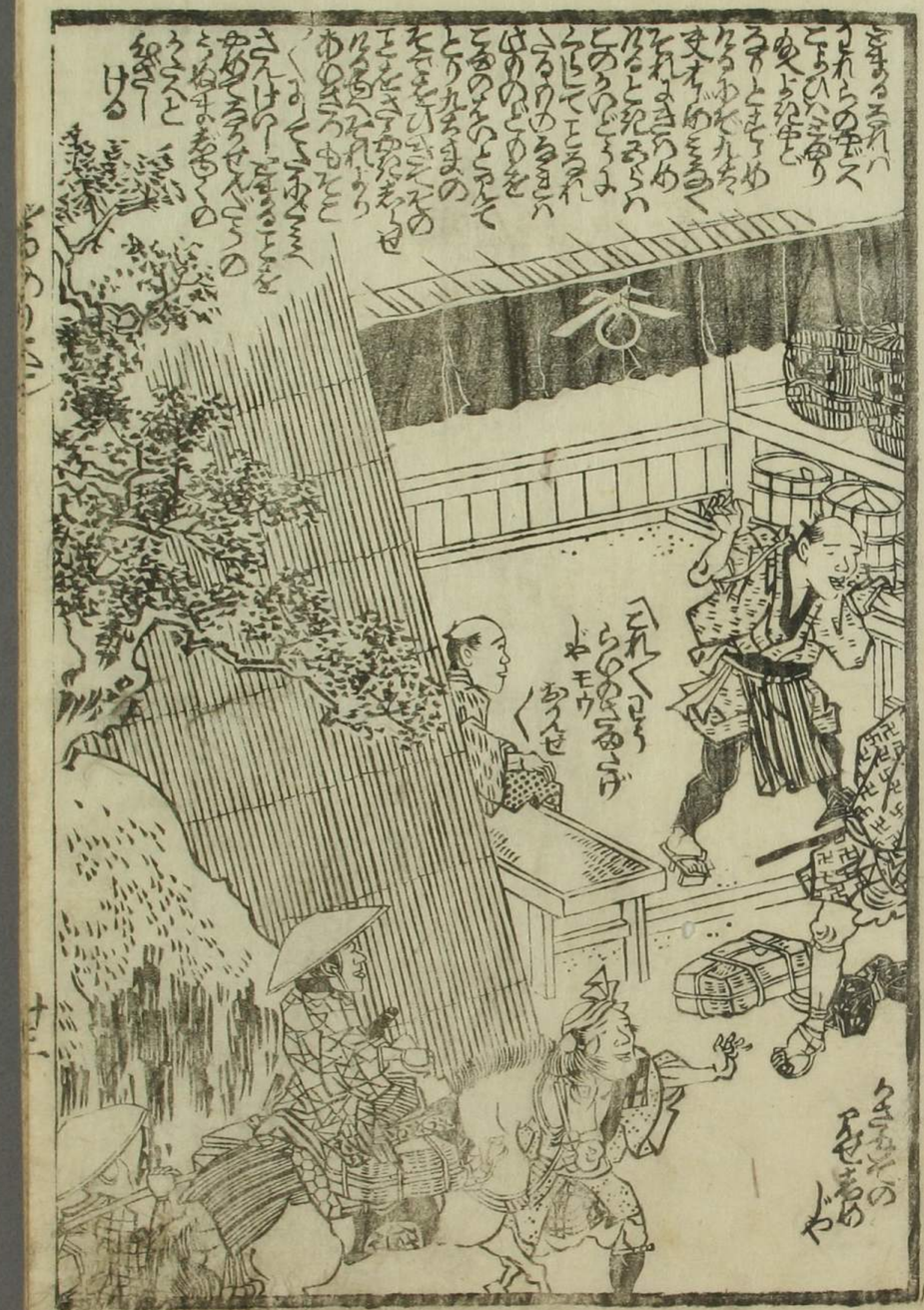
文政十一年
戊子ノ初春梓

山本榮久堂版

た
よ

九

五



ちゃまえ

さ
し

奉納願礼西国三十三所

郡

兵

鶴屋南北作
怪談岩倉万之丞 六冊 五渡亭國貞画
市川三升著述 伊達姿辰巳八景 六冊 歌川國安画
墨川亭雪麿作 逢見茶嫁入小袖 六冊 歌川豊國画
通俗 十返舍一九作 風話 露時雨駕籠渡 六冊 北尾重政画
同 風流烈女傳 初輯 六冊 五渡亭國貞画
同 初液雨 美艶仙女香 一色紙 八冊 美女香 一色紙 八冊
同 矢口渡 六冊 溪齋英泉画
東西両天狗 晴雨とも 用向 坂本氏
地本類 東西類 問屋 江戸 上町川岸 橋角 山本平吉板

文五十五